



ウンカ類発生状況報告書



(トビイロウンカ発生程度別基準)

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1~5	6~21	21~50	51以上

(セジロウンカ発生程度別基準)

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1~10	11~50	51~100	101以上

(ヒメトビウンカ発生程度別基準)

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1~2	3~5	6~10	11以上

(植物防疫協会 イネの病害虫より)

調査日:令和4年7月6日

調査田	捕殺数(株あたり虫数)		
	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
岸和田市積川町	0頭	0頭	0頭
和泉市国分町	0頭	0頭	0.013頭 ※75株当たり1頭捕殺
泉大津市虫取町	0頭	0頭	0頭

総括

トビイロウンカは例年、梅雨前線に向かって吹き込む下層ジェット気流に乗って中国大陸から飛来します。

本年、近畿地方は平年より8日遅く梅雨入りし、21日も早く梅雨明けを迎え、平年よりも梅雨が短かったこととなります。

今回の調査結果では、大陸からの飛来ウンカは確認されませんでした。

さらに梅雨明けに伴い、今後は大陸からの飛来は少なくなるものと考えられますが、急激に増える害虫でもあるので、今後も引き続き圃場内をよく見回り、発生には十分注意してください。



トビイロウンカによる坪枯れの被害



トビイロウンカの姿(体長は約4~5mm)